

5/13
朝

原発事故で家族転々 神戸へ

会社員

(兵庫県 58)

2011年3月の東日本大震災まで21年間、福島市が家族との暮らしの拠点でした。私は07年から仙台市に単身赴任。宮城県の石巻市以北の営業担当でした。

あの日、娘は東京在住。

息子は大学受験のため、地震発生の数時間前に福島を離れたところでした。妻は福島の自宅に。私は営業のため、車で宮城県の内陸部を走っていました。

電話もメールも全く連絡がつかず、家族がばらばらに過ごした不安は忘れません。数日後に連絡がつきました。結局、妻は原発事故

の放射能を避け、大阪の実家に自主避難。長男も大阪に合流。幸いにも合格し、福島へ帰らずに新潟へ。私は仙台で3年働き、静岡を経て昨年、神戸に転勤、妻と暮らしています。「終の棲家」のつもりで建てた福島の家は売却。

大震災について「東北で良かった」と発言した前復興相に腹は立ちますが、後任大臣が福島出身だからと、いって簡単に解決するとは思いません。事故の後始末と再発防止は超党派で考え、過去に原発事故を経験した外国の知恵も借り、乗り越えるしか方法はないと考える一人です。